



## 令和3年度 学校経営方針

### 「オンリーワンの教育」

開校147周年

歴史や伝統、教師の熱意や指導力、児童の学力の向上や心の育ち、健康・体力の育成の面、PTA・地域の協力体制、保護者の熱心さなどいずれの面から見ても「さすが中和」と言われる教育

#### I 本校の教育目標

人間尊重の精神を基調とし、広く国際社会や地域社会において信頼と尊敬を得られる人間の育成を目指し、健康で自他の人格を重んじ、創造性に富み実践力のある児童を育成するため、次の目標を設定する。

- よく考えてくふうする子ども（重点目標）
- 自主性に富み責任感の強い子ども
- 健康で明るい子ども
- 心ゆたかで思いやりのある子ども

#### II 学校経営理念

##### 1 教育目標を達成するための目指す学校像

－ 保護者、地域から信頼され、安心して児童をあずけられる学校 －

中和小学校は、開校147周年を迎え、これまでの学校教育のよさや成果を「継承」とともに、時代や社会の変化に対応できる新しい学校教育の「創造」に努める。

そのために、学校は児童一人一人の「生きる力」を育み、可能性を伸張させる学校でありたい。児童が大切にされ、学ぶ喜びに満ちた楽しい教育活動を教職員・保護者・地域社会が一体となって推進し、「満足度の高い学校」を目指す。

##### 【目指す学校像】

- (1) 一人一人を大事に育てる中和小学校
- (2) 明るく楽しい中和小学校
- (3) 規律あるさわやかな中和小学校
- (4) 学ぶ喜びや誇りのもてる中和小学校
- (5) 安全で安心して通うことのできる中和小学校

##### 2 学校経営の基本方針

- (1) 人権教育：「生命」を大切にし、人権を尊重する教育を推進する。
  - ①児童が認められ、自分に自信を持ち、生きる喜びを見いだせる学校を確立する。
    - 学校教育において、自尊感情や自己肯定感を高めるための教育の充実を図る。
  - ②いじめ、不登校など、児童の多様な課題に学年、学校全体で対応する。
    - 互いに認め合い、ともに学び合う学校づくりを目指す。
- (2) 確かな学力：「学力の向上」を目指し、教育課程を編成・実施する。
  - ①中和学習スタンダードを身につける。
  - ②学校生活のきまりを守り、自分から自分で課題解決できる力をつける。
  - ③タブレットでの学習を活用し、家庭学習（自学学習）の定着を図る。
- (3) 教育活動：計画的・組織的に実践し、教育目標の達成を目指す。
  - ①新型コロナウイルス感染防止による十全な危機管理体制と新教育課程の推進を図る。
  - ②教育内容の計画・実践・評価・改善を充実させ、保護者や区民への説明責任を果たせるように教育活動の位置づけを明確にする。
  - ③教員が各校務分掌主任の立場で、よりよい教育活動を考え、teams を活用して情報共有し

積極的に学校経営に参画する。

(4) 学校や地域：誇りをもって、社会の形成に参画する基礎を培う教育を推進する。

- ① ゲストティーチャーを招聘し、将来の「夢」や「目標」への意識付けをする。
- ② 学校や地域の教育環境を積極的に活用し、「歴史と文化」「環境問題」「国際社会」への関心を喚起し、理解を深め実践する教育を推進する。
- ③ オリンピックパラリンピック教育を通して、「ボランティアマインド」「障害者理解」「スポーツ志向」「日本人としての自覚と誇り」「豊かな国際感覚」の5つの資質を育成する。
- ④ 日本の伝統文化に関心をもち、英語活動、外国語活動を通して豊かな国際感覚を磨く。

### III 学校経営の中期的な目標

#### 1 「鍛える」学校

—落ち着いた学校生活—

- ① 学校を安全で清潔な教育の場とし、安心して学べる教育環境で児童の心身を鍛える。
- ② 教職員全員が、すべての児童を育てる中和ファミリーの意識をもち指導にあたる。

#### 2 「究める」学校

—授業の改善・充実—

- ① 基礎的・基本的な内容の定着を図り、教師の授業力を究める。
- ② 自力解決学習・体験的な学習など学習活動の充実を図り、児童の学びを究める。

#### 3 「品格ある」学校

—教育公務員としての自覚と誇り—

- ① 服務の厳正に努め、全体の奉仕者としての自覚を高め、品性ある職務を遂行する。
- ② 人権尊重の精神を基調に、体罰、いじめ、差別のない学校づくりに努める。
- ③ 教職員のコミュニケーションを大切にされた多様なマンパワーの働きやすい居場所とする。
- ④ ライフ・ワーク・バランスを意識した生活を実践し、teams を活用し会議の精選・無駄をなくす。

#### 4 「かかわる」学校

—保護者・地域社会との連携—

- ① 学校が家庭・地域社会と十分な連携を図り、児童のよりよい環境をつくる。
- ② 地域教材の開発や地域人材の活用を積極的に推進し、教育活動の充実を図る。
- ③ 学校公開、学校（学年）だより、ホームページの充実を図り学校情報を積極的に発信する。

#### 5 「安心・安全」な学校

—健康で安全な学校生活—

- ① 生命尊重、安全・健康について十分な配慮を行い、豊かな教育環境を創出する。
- ② 温かさや厳しさの調和のとれた指導で、意欲と自覚を喚起させ規範意識を育む。
- ③ 新型コロナウイルス感染防止策として、3つの密（密閉、密集、密接）を避ける環境をつくる。
- ④ 地震、風水害、不審者等からの危機回避能力の育成、安全対策や安全点検の徹底をする。

### IV 短期経営目標と方策(令和3年度の重点)

— 令和3年度の「重点目標」と「目標達成」のための具体的方策 —

1 [重点目標] 学年・学級経営：児童が自信を持って健康で安全な学校生活ができる。

[方策] ○教職員共通理解のもと、学校生活や基本的学習・生活習慣の定着を図り、規範意識を育む。

○特別支援を必要とする児童を取り巻く学級児童の心の育成を強化し、いじめ・差別のない学年・学校づくりに努める。

○あらゆる活動で、「自分で、自分から」という自主性を育てる。

○「新しい学校生活」様式を徹底する。

○友だちのよさを認める活動を重視する。

○児童のよさを認め伸ばす声かけ、共に遊ぶなど、学年で児童を見守る体制をつくる。

○学年便りを通して、担任が児童の様子をどのように捉えているのか詳しく伝える。

○どんな学級を目指すのか、児童とともにクラス目標立て明確にして学級経営を行う。

○4、5月「中和学習スタンダード」を徹底し、学習する姿を確立する。

○各学年に応じた自立の基礎を養う取組を実施する。

○基本的生活習慣の定着、規範意識を育む具体策を提示し実施する。

○道徳・いじめ授業を実施し、言葉遣いに敏感な教育環境をつくる。

○兄弟学年交流活動の自主的な活動の充実を図り、思いやりや責任等の社会性を育む。

○基本的に外遊びを推進する。

2 [重点目標] 学力向上： 教育課程を円滑に実施し、『学力』の向上を推進する。

[方策] ○学習指導要領の円滑な実施と教育課程の改善・充実を図る。

○基礎・基本の学習の定着、体験的な学習・自力解決学習の重視、自分の考えをもち、表現力の伸長、学びの姿を育成する。

○タブレットを活用し、わかる楽しい授業をつくる。

○カリキュラムマネジメントを意識した学習活動を実施する。

○読解力を高める手立てを講じて授業を進める。

○タブレットを活用した家庭学習（自学学習）や日々の振り返り学習を通して学習の定着を図る。

○テストのやり方や見直しを行い、予習・復習の意識を高める。

○各学年「読む・書く指導」を重点し、作文や感想文、手紙や新聞づくり、俳句など、年間を通して実施する。

○教師の指導の入った表現作品を廊下掲示板に掲示し、児童の興味関心を高める。

○言語に興味関心をもてる環境作りを推進する。

○年2回の読書旬間では、各学年に合った本を読み、読書楽しさを味合わせる。

○調べる学習を実施する。

3 [重点目標] 授業力向上： 『研究で授業力向上を目指す中和』を確立する。

[方策] ○「主体的・対話的で深い学び」の授業改善に取り組む。

○研究授業を通して、読解力向上への手立てを提案し、実践する。

○授業観察を年3回実施し、授業改善を図る。

○OJT研修、区小研・校外の研修会などに参加し、積極的に授業力向上に励む。

○週案簿の作成、反省をもとに改善する。

○区小研・校内研・授業観察・模擬授業を通して授業力を高める。

○授業を公開（研究授業）し授業力を高める。

○「習得」「活用」「探究」の授業スタイルを確立。

○発問・指示の明確な考える授業を目指す。

○自力解決、体験的な学習を積極的に行う。

○国語科・社会科の教材開発・授業研究を通して授業改善を図る。

○外国語授業は、担任がT1として授業を実施する。

○専門教科の研修会に積極的に参加する。

4 [重点目標] 学びの場・機会拡大： 外部の教育力を活用する。

[方策] ○オリパラ教育、学校図書館教育など、地域の教材化、地域人材の活用する。

○行政機関や地域と連携・協力し、地域とともに在る学校として「総合力」を高める。

○オリパラ教育では、パラリンピックへの関心を高める活動を重視し掲示する。

○地域に関わる学習や地域人材について授業を行う。

（幼保育園や地域への発信する交流を実施する）

○学校支援ネットワーク、ゲストティーチャーや出前授業、地域の教育力を活用し、授業の充実を図り、児童の「生きる力」を育む。

○PTA、地域活動に積極的に参加する。

5 [重点目標] 生き方の教育： 「夢」や「目標」に向けて頑張る姿をつくる。

[方策] ○新型コロナウイルス感染防止策のもと、できる限りの教育内容で各行事を進める。

○各教科において、日本の伝統文化や地域教材に触れ、わが国や地域、我が校への愛着を深める。

○英語活動、外国語を通して豊かな国際感覚を磨く。

○学校生活が豊かになる楽しい教育活動を作り出す。

○各行事では目標を書き、頑張る姿をつくり、自分の成長を意識させる。

○将来の夢、頑張ったこと、二分の一成人式など、一年間の成果を発表したり、まとめたりする。

○葛飾北斎、相撲、太鼓、職人技などの体験学習を通して伝統文化を知る機会をつくる。

○国際理解教育の活動や英語及びTGGでの体験を通して豊かな国際感覚を磨く。